



1 学期中間考査 ～健闘を祈っています！～

5月24～26日にかけて、本校では1学期中間考査がありました。全日制普通科の本校は、授業へ出席し宿題や提出物などの課題をこなし、定期考査を受けて全科目の単位を取得しなければ進級・卒業はできません。小中学校と比べ生徒一人一人の自主性が重んじられるため、高校はとて自由な雰囲気ですが、進級に関しては厳しいものです。1年生は初めての考査なので、真剣そのもので受験していました。3年生にとっても1学期の成績は自分の進路に直結します。自分の目標に届くよう健闘を祈っています。



緊張感が伝わる1年生のテスト風景

「蓼科学」打ち合わせ会 ～「蓼科学アーカイブをつくろう2021」～

5月25日(火)、長野大学の前川道博教授が来校し、2年の地域コース「蓼科学」の授業連携について打ち合わせが行われました。昨年度前川先生は、本校に残る初代校長保科百助先生の鉱物標本をデジタルアーカイブ化して、世界に公開する取り組みをご指導くださいました。

今年度は立科町が所蔵する保科先生の資料を公開すると同時に、小中学生や地域の方が利用できるように教材化する内容です。「高校生が学ぶこと自体を地域に還元する」という素晴らしい構想です。授業自体もオンライン公開する予定で、このアクティブラーニングの授業が実現されれば、地域学習や探究学習のスタンダードモデルとして、全国でも広く応用されるのではないのでしょうか。



本校生に指導される前川先生

困ったお話(その36) (おやじの言い間違い)

先日、喫茶店に入ってメニューを見た。ケーキのモンブランを注文したくて、妻に言った。

「そのモランボンをお願い。」

涙を流して妻は笑った。

それから話題がお笑いの話になった。マジカルラブリーの野田クリスタルのことを話したくて妻に言った。「クリスタル野田ってさー。」

けたたましい笑い声がしばらくホールに響いた。

なぜ人は言い間違いをするのだろうか？特にこの手の間違いは、若者にはなく女性にも少ない。圧倒的におじさんに集中している気がする。私は知恵を総動員し、なんと2秒も考察した結果ある真理にたどり着いた。

「おじさんは、カタカナ言葉に弱い。」

以前IT革命を「イット革命」と読んで笑われた首相がいたが、私も同類だ。もうヤケだ。3年の進学志望の生徒にこんな講話はどうだろう。(正解は裏面)



講話内容の間違い

『宮澤の校長です。さて、君たちは最強学年になった。受験を制する者は夏を制する！いまこそモチベーションの高い君たちはポンテシャルを上げ、あたってくじけろの決意でこの夏を寄り切ってほしい！』

正解

校長の宮澤です。さて、君たちは最高学年になった。夏を制する者は受験を制する！いまこそポテンシャルの高い君たちはモチベーションを上げ、あたってくだけろの決意でこの夏を乗り切ってほしい！